

## 第6章 地域ごとの計画



## 第6章 地域ごとの計画

### 1. 地域ごとの計画の構成

#### 1) 地域区分

地域ごとの計画は、本計画の内容をわかりやすく示すため、それぞれの地域ごとに進める主要な計画内容を整理したものです。

地域区分は、区全体の都市構造における拠点の配置、墨田区基本計画における6つのコミュニティエリアや墨田区都市計画マスタープランの地域区分と整合をとり、地域コミュニティの状況をもとに、6つの地域に区分します。

地域名称	対象町丁目
堤通・墨田・八広地域	堤通二丁目、墨田、八広、東向島四～六丁目
向島・京島・押上地域	堤通一丁目、京島、向島、東向島一～三丁目、押上
東墨田・立花・文花地域	東墨田、立花、文花
吾妻橋・本所・両国地域	吾妻橋、東駒形、本所、石原、横綱、亀沢、両国
業平・錦糸・江東橋地域	業平、横川、太平、錦糸、江東橋一～四丁目
緑・立川・菊川地域	菊川、立川、緑、千歳、江東橋五丁目

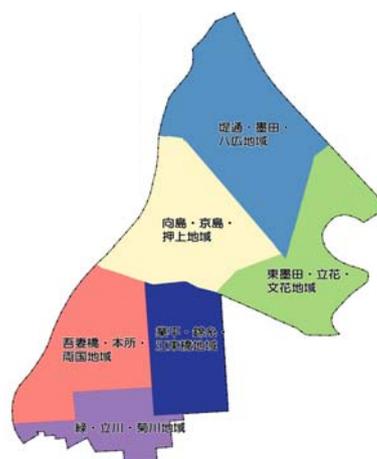


図6-1：地域区分図

#### 2) 地域ごとの計画の構成

地域ごとの計画は、以下の5つの構成でまとめています。

##### (1) 目標

地域ごとの緑被率の目標値を示しています。

##### (2) 地域特性

地域の現況として、①まち並み、②緑の概況、③地域資源、緑の地域データについてまとめています。データの出典は、「墨田区緑と生物の現況調査報告書（墨田区区民活動推進部・環境担当環境保全課）平成22年3月」と「墨田区世帯人口現況平成22年10月分（住民基本台帳、外国人登録数）」です。

##### (3) 主要課題

緑に関する地域ごとの主要な課題を示しています。

##### (4) 方針と主な施策

第3章で示した基本方針に基づき、主な施策を地域ごとに示したものです。

##### (5) 主な整備内容

区民とともに進める緑と花のまちづくりを実現する具体的な整備の内容を示したものです。

##### (6) 地域計画図

第3章で示した緑の将来像図を具体化するための方針を、地域ごとに示したものです。

## 2. 地域ごとの計画内容

### 1) 堤通・墨田・八広地域

#### (1) 目標

堤通・墨田・八広地域の緑被率を現況の 14.3%から 17.0%を目指します。  
また、荒川河川敷でのビオトープなどの維持管理の充実による緑の質の向上と、主に墨田、八広、東向島の市街地内での緑地の確保をあわせて実施し、緑感を高めていきます。

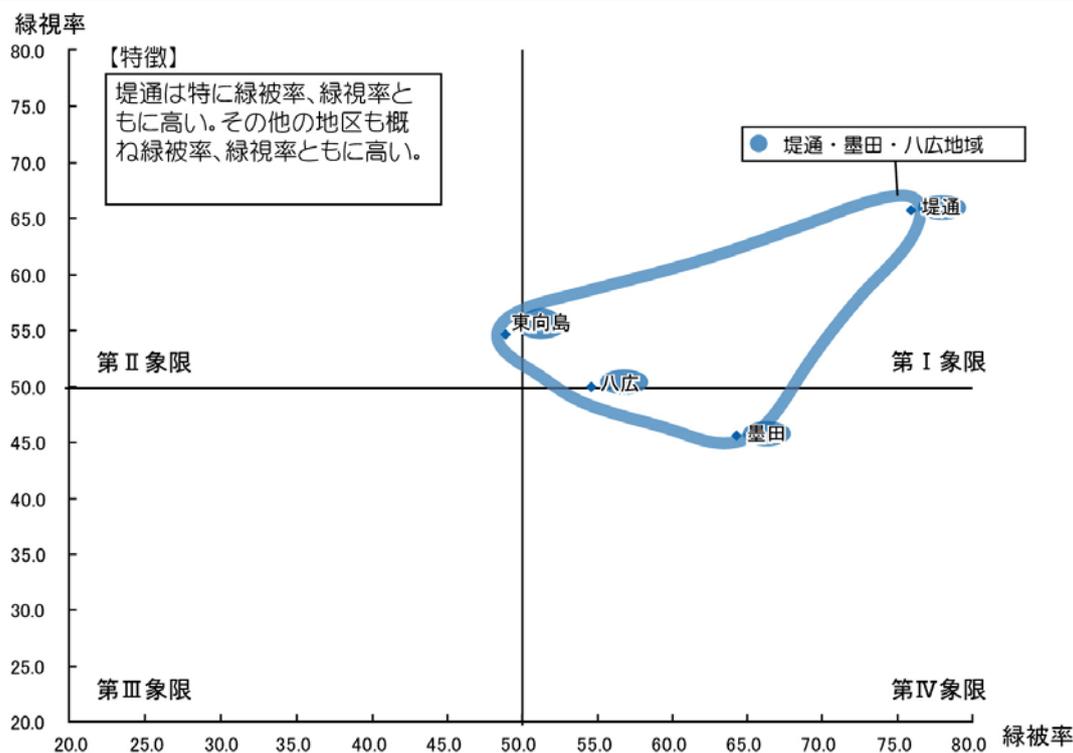


図 6-2：堤通・墨田・八広地域の緑感図（緑被率と緑視率による地域分析）

#### (2) 地域特性

- ①（まち並み特性）狭い路地や古い木造家屋が多く、下町らしいまち並みが残る一方、マンションの建設が進んでいます。特に墨田地域は「東京都防災都市づくり重点地区」により防災性向上のためのまちづくりが進められています。また、水と緑のネットワークを構成する曳舟川通りなどの幹線道路においては景観整備が進められています。
- ②（緑の概況）荒川緑地、東白鬚公園の2つの大きな公園・緑地があり緑被地が確保されているため、緑被率が 14.3%と区平均より高くなっています。しかし、他地域と同じように市街地内では緑は少ない状況です。
- ③（地域資源）大正通りやいろは通りなどの商店街には活気があり、地域の特性を表しています。

表 6-1：堤通・墨田・八広地域の緑の地域データ

地域面積	人口	緑被率	緑被面積	内訳		一人あたりの 緑被面積
				樹木被覆地	草地	
347.7ha	56,891 人	14.3% 区平均 10.5%	49.6ha	31.0ha	17.8ha	8.7 m <sup>2</sup> /人
地域に生息 する生き物 (重要種)	【荒川河川敷】トビ、チョウゲンボウ、ダイサギ、アオダイショウ、ウナギ、ニゴイ、ツヤマルガタゴミムシなど 【東白鬚公園】ヤマガラ、チョウトンボなど					

### (3) 主要課題

- ①維持管理の充実による緑の質の向上
- ②荒川・四ツ木橋緑地の自然環境の保全
- ③曳舟川通りなどの幹線道路での景観整備、緑化の推進
- ④住宅や事業所、工場などの共存のための防音対策として緑化の推進
- ⑤低層住宅と高層建物との混在を調和するような緑づくり

### (4) 方針と主な施策

基本方針	主な施策の内容	〇〇：施策番号
緑の多様性を高める	① 荒川の自然生態系の保全	01
	② 隅田川沿いの緑づくり	06
生活を豊かにする 緑をつくり育てる	① 荒川・四ツ木橋緑地などの水と緑のネットワークづくり	12
	② 東白鬚公園などのシンボルとなる公園づくり	14
	③ 災害からまちを守る公園づくり	16
環境に資する緑を 育てる	① 曳舟川通りにおける街路樹や親しみのもてる草花の充実	21
	② 緑化基準による緑の確保	25
	③ 壁面緑化・ベランダ緑化・緑のカーテンなど立体的な緑化の推進	27
緑と親しむ文化を 育む	① 生物のモニタリング調査の実施	35
	② 緑と花のまちづくり推進地域制度の充実	36
	③ 緑を育てる拠点づくり	37
区民協働により進 める	① 区民主体の緑化活動への支援	41

### (5) 主な整備内容

- ①緑と花の拠点・・・(例) 曳舟駅周辺
- ②水辺に親しめる景観スポット・・・(例) 荒川
- ③四季の緑や花を楽しみ、人が集まる景観スポット・・・(例) 曳舟川通り交差点、明治通り交差点
- ④景観軸(曳舟川通りや大横川親水公園)の景観スポット・・・(例) 曳舟川通り
- ⑤地域・地区ごとのテーマに沿った緑文化スポット・・・(例) 東白鬚公園(都と連携)

(5) 地域計画図

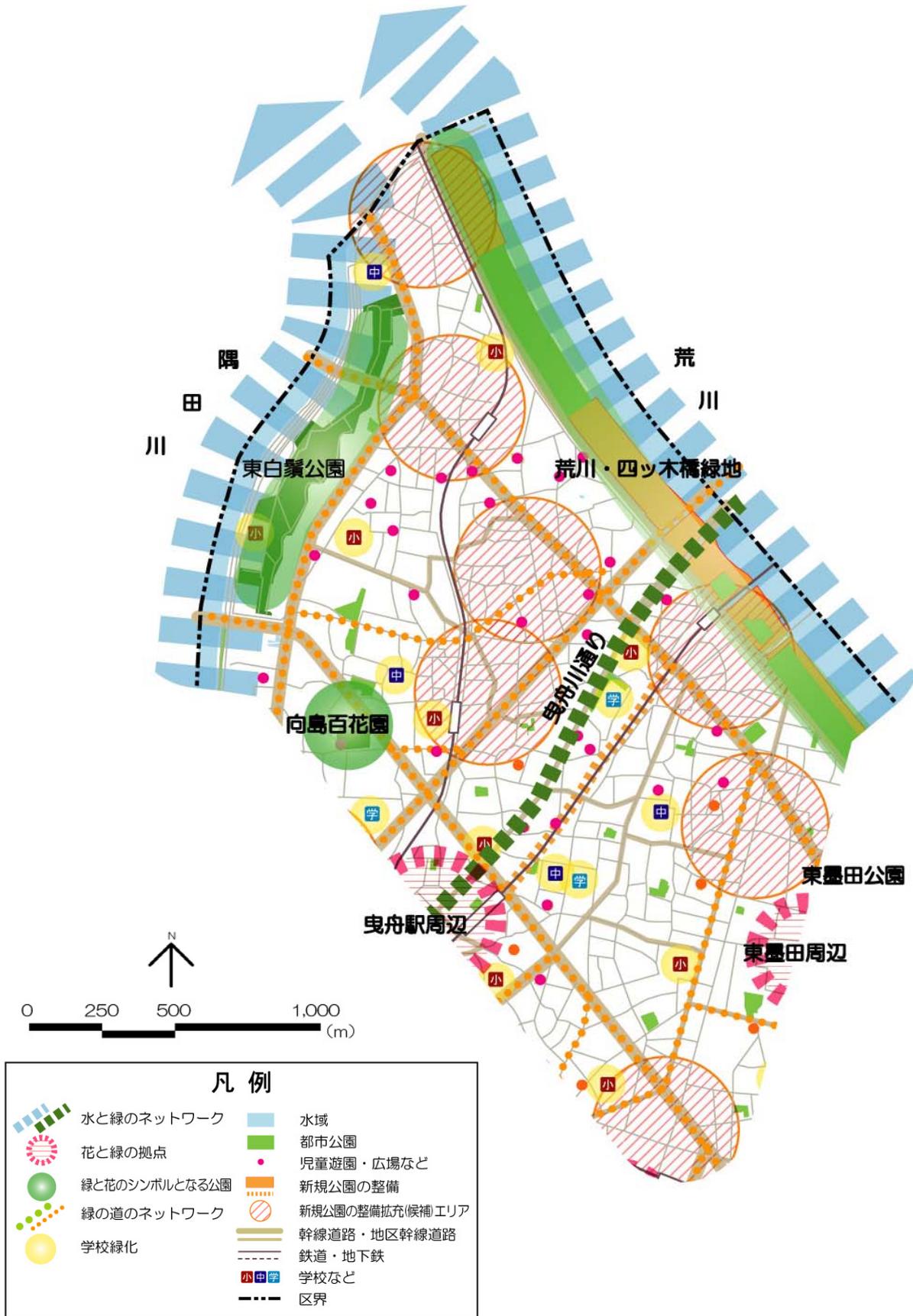


図 6-3：堤通・墨田・八広地域の緑の地域データ

## 2) 向島・京島・押上地域

### (1) 目標

向島・京島・押上地域の緑被率を現況の 8.8%から 11.0%を目指します。  
また、向島などの狭い路地の多い地区や開発の進む押上で、緑地の確保により緑感を高め  
ていきます。

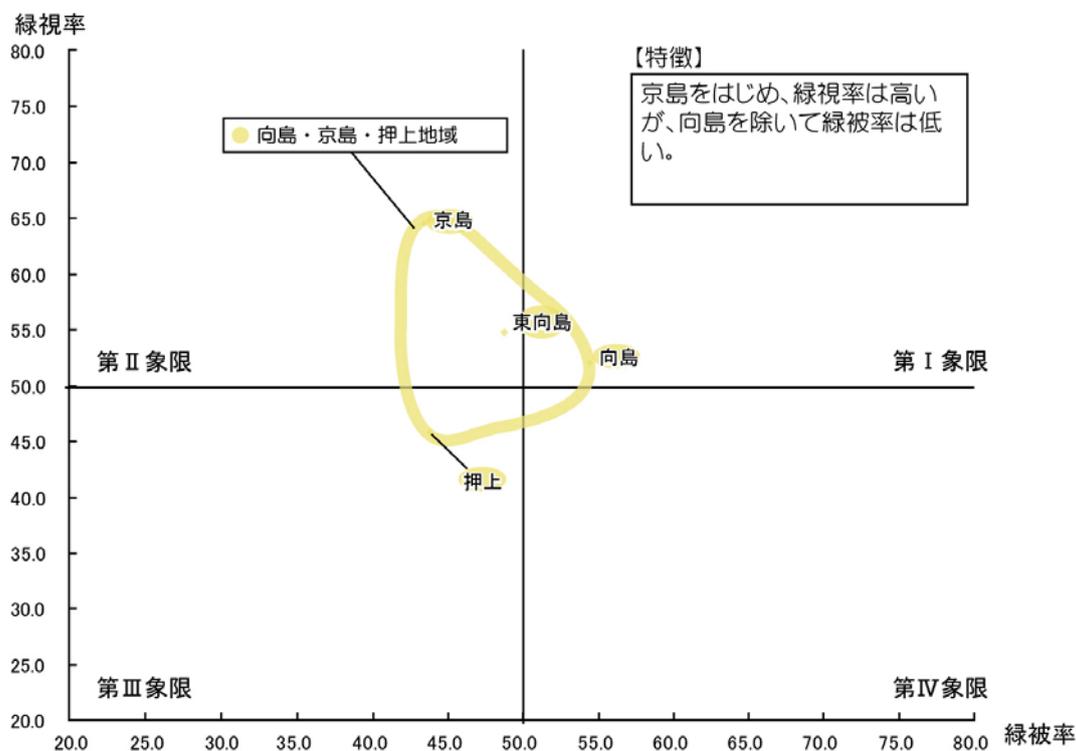


図 6-4：向島・京島・押上地域の緑感図（緑被率と緑視率による地域分析）

### (2) 地域特性

- ①（まち並み特性）向島・京島地域一帯は、路地が入り組み、庭先や玄関での緑づくりなど、親しみのあるまち並みが形成されています。押上・業平橋周辺は、東京スカイツリー<sup>®</sup>が建設され、本区の新たなまちづくりの契機となるとともに、東京の新たな観光名所としてのまちづくりが始まっています。また、水と緑のネットワークを構成する曳舟川通りなどの幹線道路においては景観整備が進められています。
- ②（緑の概況）地域の西側に隅田川、南側に北十間川が流れ、向島百花園や隅田公園などのまとまった緑がありますが、その他は規模の小さな緑が多く、緑被率が 8.8%と、区内でも緑の少ない地域です。
- ③（地域資源）隅田公園と墨堤の桜、向島百花園、その他数多くの文人墨客に由来する史跡があるなど、歴史・文化的資源の多い地域です。

表 6-2：向島・京島・押上地域の緑の地域データ

地域面積	人口	緑被率	緑被面積	内訳		一人あたりの 緑被面積
				樹木被覆地	草地	
260.5ha	50,129人	8.8% 区平均 10.5%	22.8ha	20.2ha	1.7ha	4.5㎡/人
地域に生息する生き物（重要種）	【向島百花園】クロスジギンヤンマ、ウグイス、アズマヒキガエル、クサガメなど 【隅田公園】アオモンイトトンボ、ショウジョウトンボなど 【京島1丁目】ヤモリなど					

### (3) 主要課題

- ① 開発や建替えに伴う緑地の確保
- ② 歴史・文化的資源を活用した公園リニューアルの推進
- ③ 東京スカイツリー<sup>®</sup>周辺、曳舟駅周辺における、まちづくりの動向にあわせた景観形成
- ④ 防災の向上に資する公園整備、道路緑化の拡充
- ⑤ 地域コミュニティをいかした緑化の拡充

### (4) 方針と主な施策

基本方針	主な施策の内容	〇〇：施策番号
緑の多様性を高める	① 北十間川沿いの水辺整備	〇3
	② 東京スカイツリーを眺める良好な空間づくり	〇9
	③ 地域固有の緑文化の再現・創出	11
生活を豊かにする緑をつくり育てる	① 曳舟駅周辺、押上・業平橋駅周辺の緑と花の拠点づくり	13
	② 向島百花園、隅田公園、堤通公園などのシンボルとなる公園の改修・充実	14
	③ 災害からまちを守る公園づくり	16
	④ 隅田公園などの歴史や文化を伝える公園づくり	20
環境に資する緑を育てる	① 曳舟川通りにおける街路樹や親しみのもてる草花の充実	21
	② 緑化基準による緑の確保	25
	③ 壁面緑化・ベランダ緑化・緑のカーテンなど立体的な緑化の推進	27
緑と親しむ文化を育む	① 緑に係わるイベントの開催	30
	② 生き物を観察する機会の充実	34
	③ 区民や事業者の提案による緑と花の公園まちづくり	38
区民協働により進める	① 区民主体の緑化活動への支援	41

### (5) 主な整備内容

- ① 緑と花の拠点・・・（例）押上・業平橋駅周辺
- ② 水辺に親しめる景観スポット・・・（例）隅田川
- ③ 四季の緑や花を楽しみ、人が集まる景観スポット・・・（例）曳舟川通り交差点
- ④ 景観軸（曳舟川通りや大横川親水公園）の景観スポット・・・（例）曳舟川通り
- ⑤ 地域・地区ごとのテーマに沿った緑文化スポット・・・（例）向島百花園（都と連携）

(6) 地域計画図

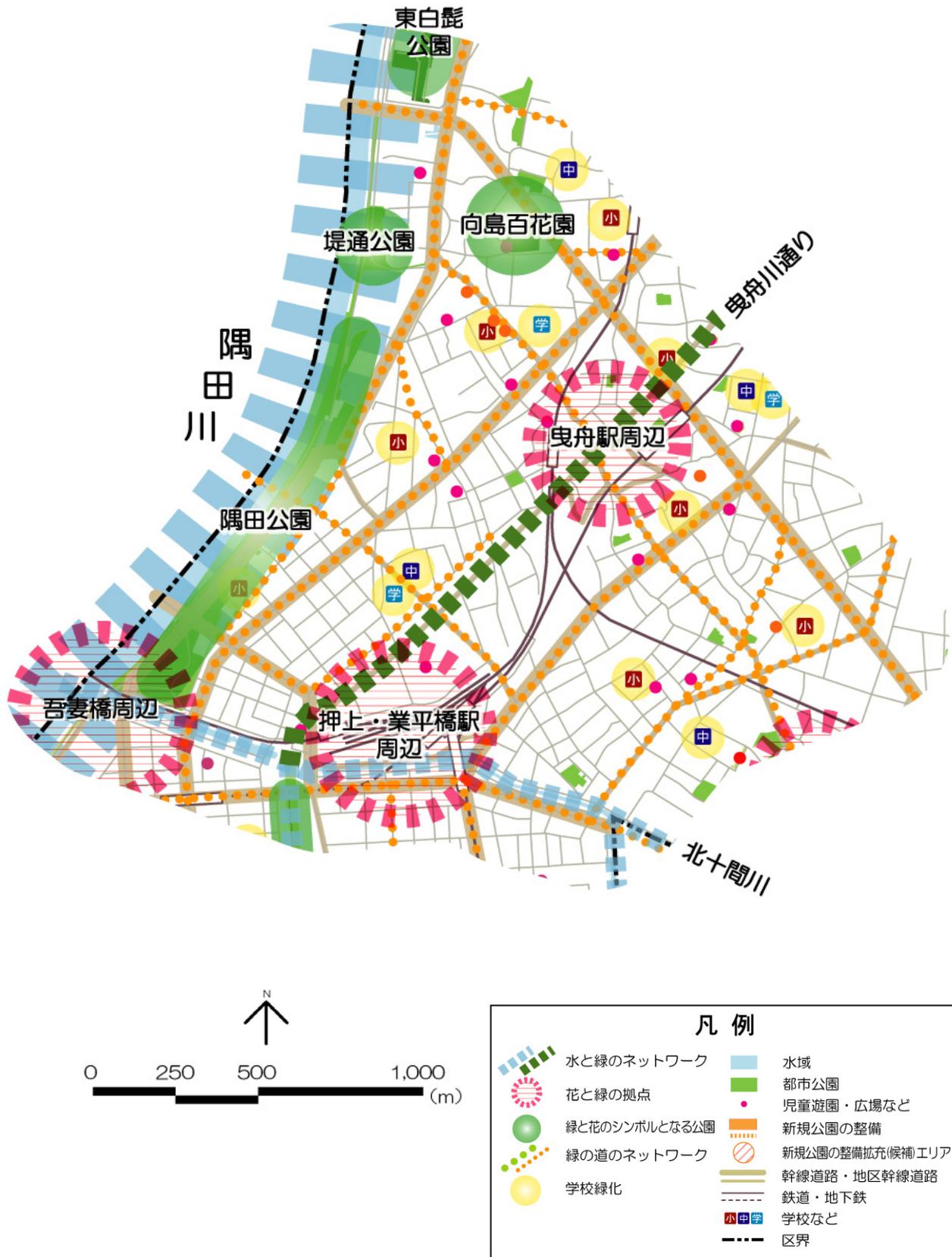


図6-5：向島・京島・押上地域の緑の地域データ

### 3) 東墨田・立花・文花地域

#### (1) 目標

東墨田・立花・文花地域の緑被率を現況の 15.4%から 16.8%を目指します。  
また、荒川、旧中川など豊かな水辺空間の維持管理の充実による緑の質の向上により緑感を高めていきます。

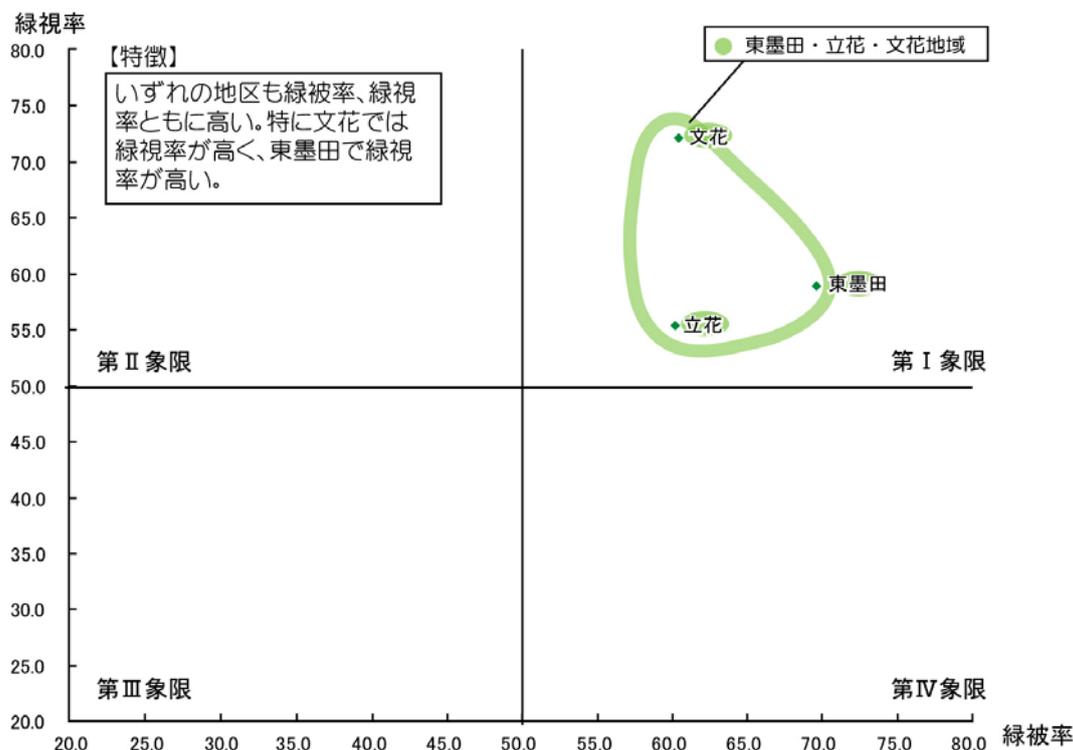


図 6-6：東墨田・立花・文花地域の緑感図（緑被率と緑視率による地域分析）

#### (2) 地域特性

- ①（まち並み特性）荒川と旧中川、北十間川に囲まれ、工場と住宅が中心となっている地域です。東墨田地域では工場やスポーツ関連施設などの大規模な民間施設及び公共施設があり、立花・文花地域には大規模な公営住宅などが立地しています。また、緑と花の学習園周辺では区民ボランティアと協働して緑化を進めています。
- ②（緑の概況）地域の東側に荒川と旧中川、南側に北十間川が流れ、河川敷や親水公園、東墨田公園、立花大正民家園などにまとまった緑があります。緑被率は本区内で最も高く 15.4%となっています。
- ③（地域資源）工場の建ち並んだまち並みや団地内の空間など、近年に形成された景観で構成されている地域です。

表6-3：東墨田・立花・文花地域の緑の地域データ

地域面積	人口	緑被率	緑被面積	内訳		一人あたりの 緑被面積
				樹木被覆地	草地	
229.1ha	32,194人	15.4% 区平均 10.5%	35.2ha	19.2ha	15.5ha	10.9 m <sup>2</sup> /人
地域に生息 する生き物 (重要種)	【荒川河川敷】トビ、チョウゲンボウ、ダイサギ、アオダイショウ、ウナギ、ニゴイ、ツヤマルガタゴミムシなど 【旧中川河川敷】アオモンイトトンボ、ツヤマルガタゴミムシなど					

### (3) 主要課題

- ①維持管理の充実による緑の質の向上
- ②親水空間が整備された旧中川を活用した景観づくり
- ③河川や公園での自然環境を活用した緑化の拡充
- ④防災の向上に資する公園整備、道路緑化の拡充
- ⑤開発や建替えを契機とした緑化の推進

### (4) 方針と主な施策

基本方針	主な施策の内容	〇〇：施策番号
緑の多様性を高める	① 荒川の自然環境の保全 〇1 ② 旧中川沿いの自然生態系の回復 〇2 ③ 北十間川沿いの水辺整備 〇3 ④ 東京スカイツリー <sup>®</sup> を眺める良好な空間づくり 〇9	
生活を豊かにする 緑をつくり育てる	① 東墨田周辺や緑と花の学習園周辺の緑と花の拠点づくり 13 ② 東墨田公園や立花大正民家園などのシンボルとなる公園づくり 14 ③ 災害からまちを守る公園づくり 16	
環境に資する緑を 育てる	① 緑と花の学習園や環境ふれあい館などの緑化の推進 24 ② 屋上緑化の推進 26 ③ 壁面緑化・ベランダ緑化・緑のカーテンなどの緑化の推進 27	
緑と親しむ文化を 育む	① 緑に係わるイベントの開催 30 ② 緑に係わる講習会・環境学習の実施 33	
区民協働により進 める	① 区民による緑化協力組織の育成 40 ② 区民主体の緑化活動への支援 41 ③ 「緑と花の学習園」の機能の拡大 43	

### (5) 主な整備内容

- ①緑と花の拠点・・・(例) 東墨田周辺
- ②水辺に親しめる景観スポット・・・(例) 荒川、旧中川
- ③四季の緑や花を楽しみ、人が集まる景観スポット・・・(例) 明治通り交差点
- ④地域・地区ごとのテーマに沿った緑文化スポット・・・(例) 東墨田公園、立花大正民家園

## (6) 地域計画図

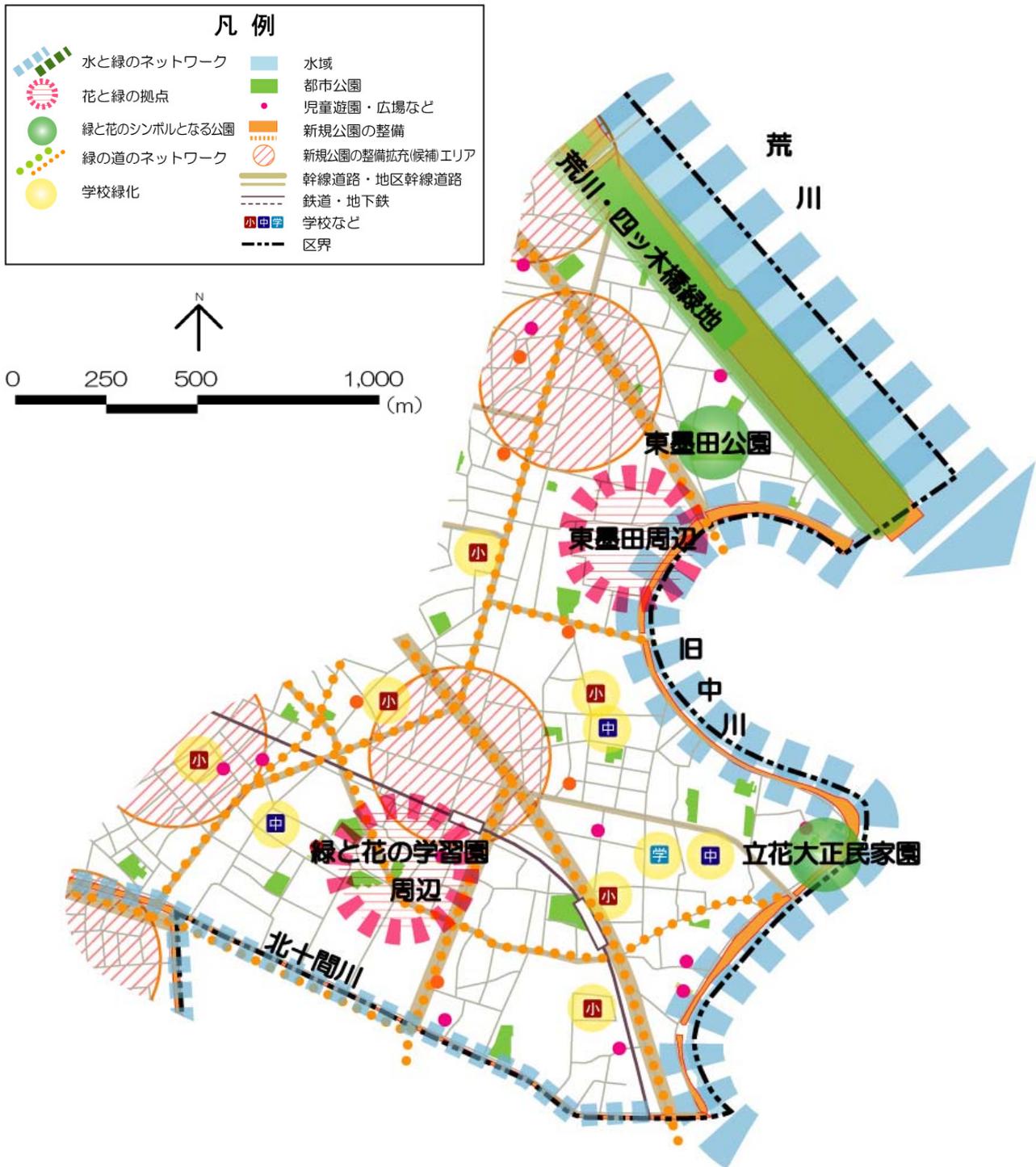


図6-7：東墨田・立花・文花地域の緑の地域データ

## 4) 吾妻橋・本所・両国地域

### (1) 目標

吾妻橋・本所・両国地域の緑被率を現況の6.5%から7.3%を目指します。  
また、旧安田庭園や大横川親水公園などの維持管理の充実による緑の質の向上と、東駒形や本所などの市街地内の緑地の確保により緑感を高めていきます。

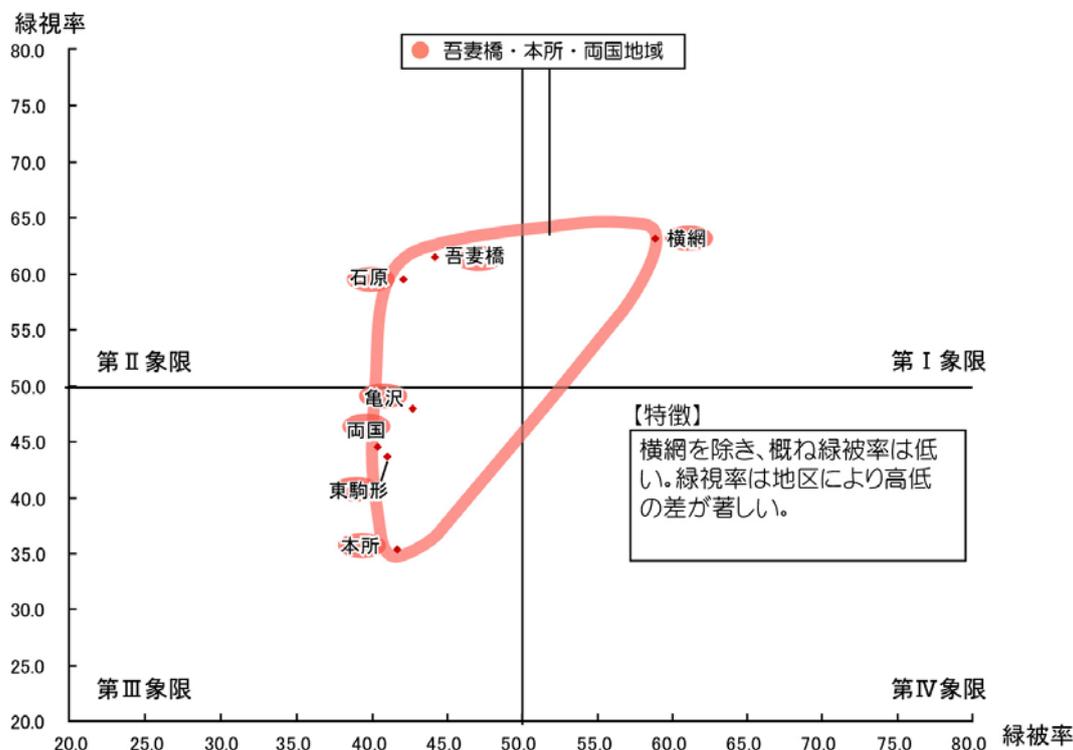


図 6-8：吾妻橋・本所・両国地域の緑感図（緑被率と緑視率による地域分析）

### (2) 地域特性

- ①（まち並み特性）吾妻橋周辺は浅草からの東京スカイツリー®への入口となるため、多くの観光客が立ち寄る地域になります。両国駅周辺は商業・業務機能が集中しており、両国国技館や江戸東京博物館、旧安田庭園、横網町公園などの歴史・文化資源が存在し、日本の伝統文化が感じられる場所となっています。押上・業平橋駅周辺では、東京スカイツリーの建設が予定され、広く魅力を発信するまちづくりが進められています。また、戦災復興による市街地整備により整然としたまち並みになっています。
- ②（緑の概況）隅田川に面し、旧安田庭園や大横川親水公園などにまとまった緑がある一方、市街地に大きな緑地は少なく、緑被率は6.5%と2番目に低い値となっています。
- ③（地域資源）北斎館（仮称）の建設計画など、北斎通り周辺の文化・観光資源づくりが進められています。

表6-4：吾妻橋・本所・両国地域の緑の地域データ

地域面積	人口	緑被率	緑被面積	内訳		一人あたりの 緑被面積
				樹木被覆地	草地	
239.2ha	42,731人	6.5% 区平均 10.5%	15.4ha	13.2ha	1.1ha	3.6㎡/人
地域に生息 する生き物 (重要種)	【大横川親水公園】ヤモリ、アズマヒキガエル、アオモンイトトンボ、ショウジョウトンボなど 【旧安田庭園及び横網町公園】クサガメ、ナマズ、アオモンイトトンボなど					

### (3) 主要課題

- ① 開発や建替えに伴う緑地の確保
- ② 細街路や敷地の狭い建物の密集する場所での防災の向上に資する緑化の拡充
- ③ 旧安田庭園や大横川親水公園を活用した環境に配慮したまちづくり
- ④ 浅草や東京スカイツリー<sup>®</sup>などの観光資源に配慮した景観形成

### (4) 方針と主な施策

基本方針	主な施策の内容	〇〇：施策番号
緑の多様性を高める	① 大横川、豎川沿いの水辺整備	〇3
	② 隅田川沿いの緑づくり	〇6
	③ 東京スカイツリーを眺める良好な空間づくり	〇9
生活を豊かにする 緑をつくり育てる	① 両国駅周辺の緑と花の拠点づくり	13
	② 災害からまちを守る公園づくり	16
	③ 歴史や文化を伝える公園づくり	20
環境に資する緑を 育てる	① 北斎通り沿いの緑化の推進	21
	② 屋上緑化の推進	26
	③ 壁面緑化・ベランダ緑化・緑のカーテンなどの緑化の推進	27
緑と親しむ文化を 育む	① 緑に係わるイベントの開催	30
	② 区民や事業者の提案による緑と花の公園まちづくり	38
区民協働により進 める	① 区民主体の緑化活動への支援	41

### (5) 主な整備内容

- ① 緑と花の拠点… (例) 吾妻橋周辺、両国駅周辺
- ② 水辺に親しめる景観スポット… (例) 隅田川
- ③ 四季の緑や花を楽しみ、人が集まる景観スポット… (例) 三ツ目通り交差点
- ④ 景観軸 (曳舟川通りや大横川親水公園) の景観スポット… (例) 大横川親水公園
- ⑤ 東京スカイツリーを眺める撮影スポット… (例) 三ツ目通り
- ⑥ 歴史・文化的まち並みをいかした歴史・文化スポット… (例) 旧安田庭園

## (6) 地域計画図

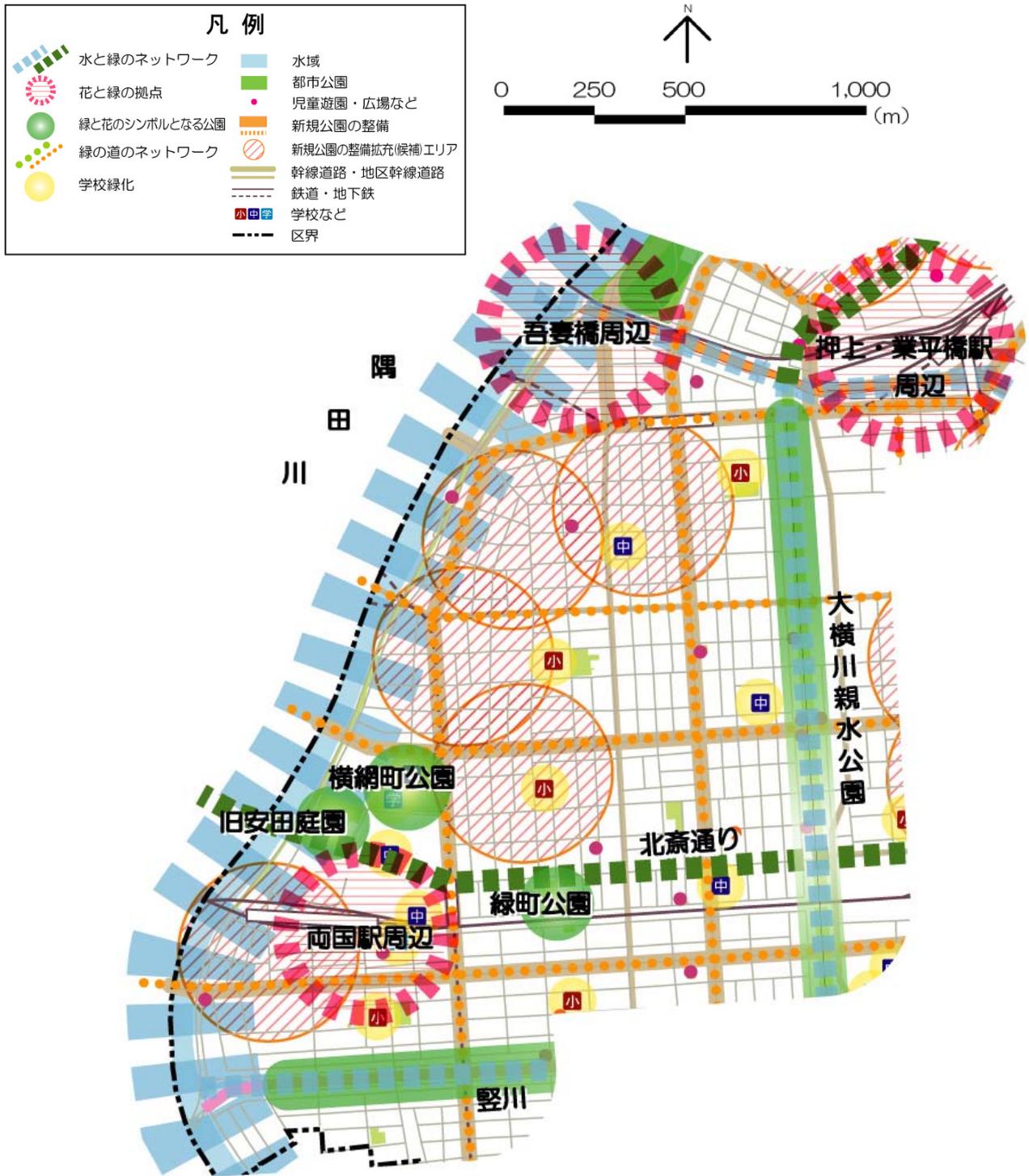


図6-9：吾妻橋・本所・両国地域の緑の地域データ

## 5) 業平・錦糸・江東橋地域

### (1) 目標

業平・錦糸・江東橋地域の緑被率を現況の8.7%から9.7%を目指します。  
また、北斎通りなどの緑化の推進、錦糸町駅周辺の開発や建替えに伴う緑地の確保により緑感を高めていきます。

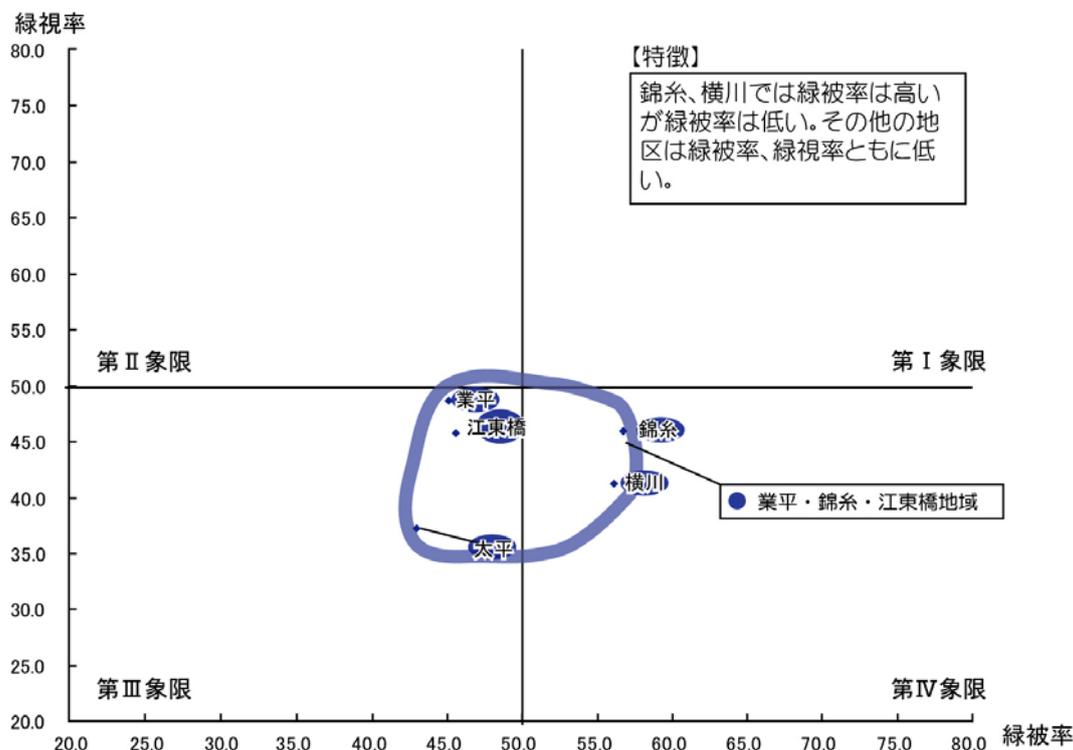


図 6-10：業平・錦糸・江東橋地域の緑感図（緑被率と緑視率による地域分析）

### (2) 地域特性

- ① (まち並み特性) 錦糸町駅周辺は商業用地の大きさが6地域の中で最も広く、東京都東部を代表する商業・業務核を形成する地域です。大規模開発の完了とともに錦糸公園の再整備が進められています。押上・業平橋駅周辺では、東京スカイツリー<sup>®</sup>への眺望という新しい景観の形成が進められています。
- ② (緑の概況) 横十間川、北十間川、大横川親水公園に囲まれた地域です。錦糸公園や大横川親水公園の豊かな緑や水辺、北斎通りなどの魅力的な通りがあります。緑被率は8.7%です。
- ③ (地域資源) 区民の屋外レクリエーションの拠点である錦糸公園があります。

表6-5：業平・錦糸・江東橋地域の緑の地域データ

地域面積	人口	緑被率	緑被面積	内訳		一人あたりの 緑被面積
				樹木被覆地	草地	
176.9ha	39,141人	8.7% 区平均 10.5%	15.4ha	12.1ha	2.3ha	3.9㎡/人
地域に生息 する生き物 (重要種)	【大横川親水公園】ヤモリ、アズマヒキガエル、アオモンイトトンボ、ショウジョウトンボなど					

### (3) 主要課題

- ① 街路樹の拡充や接道部、壁面緑化の推進
- ② 開発や建替えに伴う緑地の確保
- ③ 錦糸公園の再整備にあわせた緑化の拡充
- ④ 隣接する内部河川と一体となった親水空間などの景観の形成
- ⑤ 東京スカイツリー<sup>®</sup>への眺望という新しい景観の形成

### (4) 方針と主な施策

基本方針	主な施策の内容	〇〇：施策番号
緑の多様性を高める	① 大横川、横十間川沿いの水辺整備	〇3
	② 東京スカイツリーを眺める良好な空間づくり	〇9
	③ 地域固有の緑文化の再現・創出	11
生活を豊かにする 緑をつくり育てる	① 錦糸町駅周辺などの緑と花の拠点づくり	13
	② 災害からまちを守る公園づくり	16
環境に資する緑を 育てる	① 屋上緑化の推進	26
	② 壁面緑化・ベランダ緑化・緑のカーテンなどの緑化の推進	27
	③ 駐車場緑化の推進	28
緑と親しむ文化を 育む	① 生き物を観察する機会の充実	36
	② 緑を育てる拠点づくり	37
区民協働により進 める	① 区民主体の緑化活動への支援	41

### (5) 主な整備内容

- ① 緑と花の拠点・・・(例) 錦糸町駅周辺
- ② 水辺に親しめる景観スポット・・・(例) 横十間川
- ③ 景観軸(曳舟川通りや大横川親水公園)の景観スポット・・・(例) 大横川親水公園
- ④ 東京スカイツリーを眺める撮影スポット・・・(例) 大横川沿川
- ⑤ 地域・地区ごとのテーマに沿った緑文化スポット・・・(例) 錦糸公園

(6) 地域計画図



図6-11：業平・錦糸・江東橋地域の緑の地域データ

## 6) 緑・立川・菊川地域

### (1) 目標

緑・立川・菊川地域の緑被率を現況の 5.4%から 6.7%を目指します。  
また、北斎通りなどでの街路樹による緑化の推進、市街地内の開発や建替えに伴う緑地の確保により緑感を高めていきます。

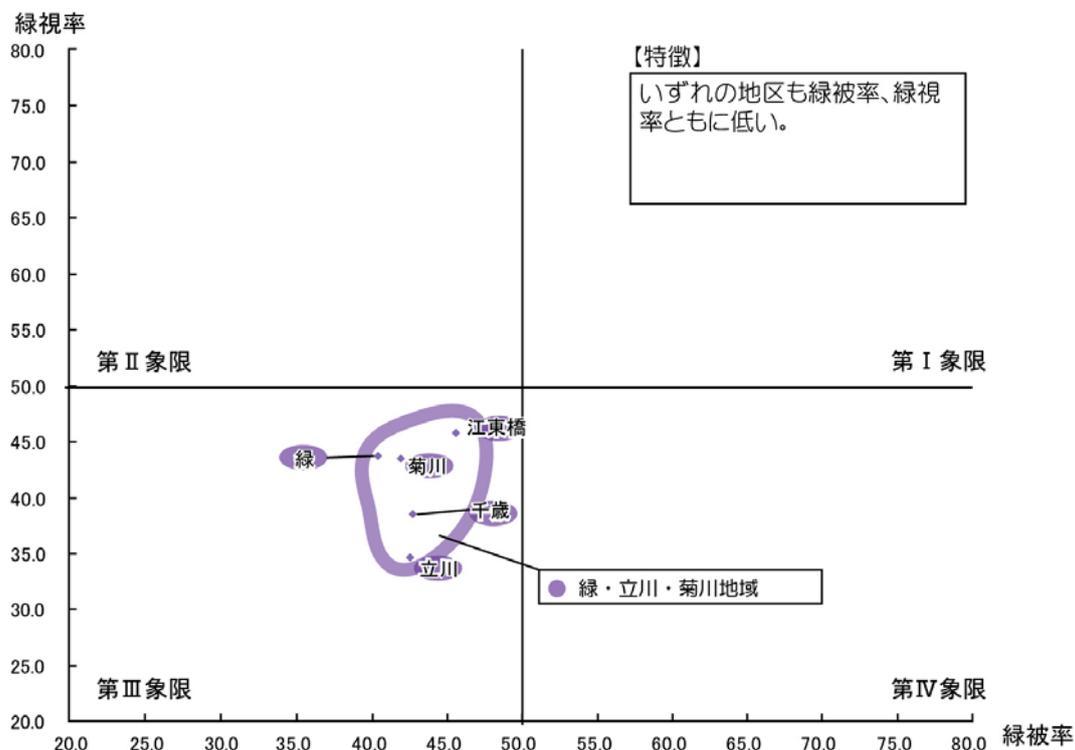


図 6-12：緑・立川・菊川地域の緑感図（緑被率と緑視率による地域分析）

### (2) 地域特性

- ①（まち並み特性）隅田川に接し、縦川や大横川によりまち並みを形成しています。菊川地域では幹線道路沿いを中心にマンション建設が進められています。また、両国や錦糸町など歴史や文化に関する施設を結ぶ散歩道などの整備、沿道の景観形成によりまちづくりが進められています。
- ②（緑の概況）大横川親水公園にまとまった緑があるほかは、全体として緑は少なく、緑被率は本区で最も低く 5.4%です。また、大横川と縦川では一部親水公園化が進められています。
- ③（地域資源）回向院や吉良邸跡をはじめとする歴史・文化に関する資源が多く存在します。

表 6-6：緑・立川・菊川地域の緑の地域データ

地域面積	人口	緑被率	緑被面積	内訳		一人あたりの 緑被面積
				樹木被覆地	草地	
121.6ha	29,039人	5.4% 区平均 10.5%	6.6ha	5.2ha	0.7ha	2.3㎡/人
地域に生息 する生き物 (重要種)	【大横川親水公園】ヤモリ、アズマヒキガエル、アオモンイトトンボ、ショウジョウトンボなど					

### (3) 主要課題

- ① 街路樹の拡充や接道部、壁面緑化の推進
- ② 開発や建替えに伴う緑地の確保
- ③ 公園緑地や水辺空間の整備の拡充
- ④ 地域特有の資源を活用したまちづくりの推進
- ⑤ 人口増加に対応した各種生活関連施設の整備にあわせた緑化の拡充
- ⑥ 豎川親水公園の整備による緑被地の拡大

### (4) 方針と主な施策

基本方針	主な施策の内容	〇〇：施策番号
緑の多様性を高める	① 大横川、豎川沿いの水辺整備	03
	② 四季の自然を楽しむ緑や花づくり	07
	③ 回向院や吉良邸跡などの緑文化の再現・創出	11
生活を豊かにする 緑をつくり育てる	① 緑町公園などでの災害からまちを守る公園づくり	16
	② 歴史や文化を伝える公園づくり	20
環境に資する緑を 育てる	① 北斎通りなどの緑化の推進	21
	② 屋上緑化の推進	26
	③ 壁面緑化・ベランダ緑化・緑のカーテンなどの緑化の推進	27
緑と親しむ文化を 育む	① 緑に係わるイベントの開催	30
区民協働により進 める	① 区民主体の緑化活動への支援	41

### (5) 主な整備内容

- ① 水辺に親しめる景観スポット… (例) 豎川親水公園
- ② 景観軸 (曳舟川通りや大横川親水公園) の景観スポット… (例) 大横川親水公園
- ③ 地域・地区ごとのテーマに沿った緑文化スポット… (例) 緑町公園

(6) 地域計画図

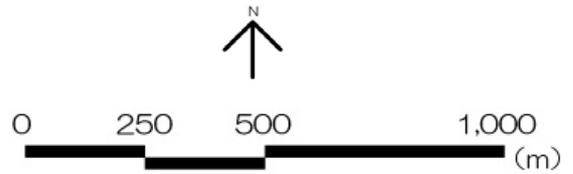


図 6-13：緑・立川・菊川地域の緑の地域データ